

# 虚血性心疾患治療 200件突破



## 「祝PCI200件達成！」

皆さんPCI 200件達成おめでとうございます。また、これまでの皆さんの多大なる貢献に心から感謝申し上げます。

心臓血管センターでは昨年7月からCAG・PCIが始動し、8月には24時間救急応需開始、その後も順調に症例を増やし、丁度1年でPCI 200件を達成することができました。宮城県内で年間PCI200件以上の病院は現在ダントツの仙台厚生病院の他2~3施設に限られ、仙石病院は1年で県内有数のカテーテル施設に躍り出たこととなります。これはまさに快挙であります。

最速でPCI 200件を達成できた理由は何でしょう。その①は宗久先生のリーダーシップです。彼の周到な事前準備と類まれな行動力、そしてスタッフへの明るく温かい配慮を第一の理由に挙げたい。その②はスタッフの皆さんが一丸となって意欲的に一生懸命頑張ってくれたから。皆さんのチームワークと頑張り・支えがあって初めてこの偉業達成に至ったのだと思います。本当に有難う。その③は仙台厚生病院の強力なバックアップです。仙台厚生病院からは各種機器の譲渡、待機医師の派遣をはじめ多大なる援助をいただき続けています。

皆さん、これからもより多くの開業の先生方、そして救急隊の信頼を獲得し、さらなる高みを目指していきましょう。

仙石病院院長 長南明道

## 「御挨拶」

2019年4月に仙石病院心臓血管センターを開設して早1年が過ぎました。

当センターの大きな目標は二つ、①虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)を中心に、迅速かつ安全・適切な心臓カテーテル治療を行うこと②難治性心疾患に対する仙台厚生病院での高度先進医療への架け橋となることです。特に①のための心臓カテーテル室の立ち上げには、医師の経験と技術はもちろん、多くのスタッフの協力が必要でした。幸い当院のスタッフはすでに長年、脳外科・泌尿器科領域を中心に救急および高度医療に携わってきた経験があり、そこに新たな仲間も加わりながら、全員一丸となって取り組むことができました。新設ではありますが、前職の仙台厚生病院の心臓カテーテル室と同様、安全かつ適切な医療を行うことができる体制を整えることができたと自負しております。「絶対に断らない」24時間体制の循環器救急患者・紹介患者さんの受け入れ、他科疾患患者さん(特に脳梗塞や人工透析、糖尿病患者さんなど)への積極的な心血管系スクリーニングを行うことで、予想を上回る多くの冠動脈疾患患者さんの治療にあたることができ、この度 200件の冠動脈カテーテル治療達成という節目を迎えることができました。

これからもスタッフ一同ますます精進しながら、地域医療に貢献させていただきたいと存じます。今後とも当センターを宜しく願いたします。

副院長 兼 心臓血管センター長 宗久 雅人

## 「夢への扉」

1年前、「心臓血管センター開設」という新しい夢に向かって、扉が開きました。

高度先進医療を展開する仙台厚生病院と強固な連携を行い、最先端機器の整備を行う事で、狭心症はじめ心筋梗塞など迅速かつ適切な治療に貢献することを念頭に、一丸となって取り組んで参りました。あれから1年。「PCI」200件という、とても素晴らしい業績を上げることが出来、誰もが充実感と達成感に満ち溢れた表情をしています。

地域に根ざし、地域と共に成長する病院にとって、地域のすみずみの方に最先端の医療を提供出来る事は、誇りでもあり、住民の方にとっても安心した生活を送ることができる要素に繋がります。

患者さんに選ばれる病院を構築し、自分の仕事に対して、誇りが持てる、良い仕事が出来よう、これからも力を合わせて頑張っていきたいと思います。

看護部長 佐々木 由佳